

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		2015 年 7 月 28 日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府福知山市長田野町3丁目17番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) タツタ電線株式会社 代表取締役 社長 外池 廉太郎
環境マネジメントシステムの名称	環境マニュアル(ISO-14001:2004) EMA-4版	
適用範囲	タツタ電線 京都工場、タツタテクニカルセンターほか、5箇所	
導入年月日	1999年 11月26日	
認証番号	JQA-EM0606	
基本方針	①環境影響に配慮し、環境負荷の少ない、資源リサイクルに適した製品の開発、設計を推進します。 ②製品およびサービスに関する全ての活動において、省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物及び環境負荷物質の低減に努めると共に、環境汚染の予防を推進します。 ③環境に関連する法規制やその他要求事項を順守し、環境保全の維持向上を図ります。・・・他3点(弊社HPに記載)	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	①環境マネジメントシステムの運用 ②法順守 自主管理値の維持 ③生産設備、空調等に関するエネルギーの削減 ④廃棄物の削減 ⑤省資源・リサイクル・有価の推進 ⑥顧客ガイドラインにのっとりグリーン調達100%実施	
目標を達成するための取組の内容	①監査、MRの実施。外部審査受審 ②環境届出の義務、記録。環境自主管理値の維持 ③省エネ活動の推進。空調機適正温度の設定、効率的な生産体制の構築 ④廃棄物処分の適正化。廃棄→有価化 ⑤廃棄物のリサイクル・有価化 ⑥グリーン調達の実施 100%	
目標を達成するための取組の進捗状況	①内部監査・・・実施中。MR・・・9月末開催予定 ②P R T R法、マニフェスト発行数・・・報告済み。大気測定・・・済み ③省エネパトロール・・・実施中、空調機更新による電力量削減 ④排溶剤の有価化・・・実施中 ⑤廃フィルムの有価化・・・実施中 ⑥グリーン調達の実施・・・100%継続	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①内部監査・・・計画どおり ②P R T R法、マニフェスト発行数報告・・・計画どおり報告。 大気測定結果報告・・・計画どおり報告 全て規制値以内 ③省エネパトロール実施・・・計画どおり、京都SE第一工場空調機更新済み ④排溶剤の有価化・・・計画どおり ⑤廃フィルムの有価化・・・計画どおり ⑥グリーン調達の実施・・・100%継続中 ※概ね目標は達成できたと評価する (その他) H26年8月に触媒燃焼式脱臭装置から蓄熱式脱臭装置に変更することでガス使用量の削減ができた。今後もガス使用量を監視していく。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	・環境自主管理値の維持 (大気、水質、騒音、福知山市届出済み) ・環境届出の義務 (P R T R法、CO2排出量、マニフェスト発行状況届出済み) ※関連法規の順守状況は、良好でありこれまで違反、行政当局から指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	3月の評価・見直しの結果、これまでの取組に一定の効果があつたため、見直しは必要なし。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。